加古川市行政改革実行プラン
令和元年度における取組状況 及び 令和２年度以降の新たな取組について

本市では、平成１３年度から５次にわたる行革緊急行動計画により行政改革に取り組み、職員数の削減や業務の民間委託などにより経費の削減に努めてまいりました。

しかしながら、少子高齢化が進み、財政状況が一層厳しくなることが見込まれる中、高度化・多様化する市民ニーズに的確に対応できるよう、経費削減、効率化だけでなく、質の高い公共サービスを提供し、市民満足度の向上を図るため、

①変化に対応するための職員力・組織力の向上

②次世代の負担軽減を図る経営基盤の構築

③市民の視点による行政サービスの推進

を基本理念とする「加古川市行政改革大綱」を平成２７年３月に策定しました。

そして、この「大綱」に基づき、「加古川市行政改革実行プラン」を平成２８年３月に策定し、「７つの重点事項」について、課題解決に取り組むこととしています。

令和元年度における主な取組と進捗状況は、以下のとおりです。

Ⅰ　令和元年度の主な取組

重点事項１　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築（取組実績Ｐ１～３、８項目）

- 人事評価を実施し、評価結果を処遇（勤勉手当・昇給）に反映させました。1-1-3
- 業務の効率化やコミュニケーションの活性化、働き方改革の推進を目指すプロジェクトチームを立ち上げ、職員アンケートによる実態調査やチャットソフトの試験導入を実施しました。1-2-5

重点事項２　職員のスキルアップと意識改革（取組実績Ｐ３～５、５項目）

- ＯＪＴ研修や職場倫理研修、女性活躍推進研修など様々な研修を実施し、職員のスキルアップに努めました。2-1-1、2-1-2、2-1-3、2-1-4
- 職員の法務能力向上のため、各部局における法的課題への対応にあたり中心的な役割を担う職員に対し、弁護士による法務研修を実施しました。2-1-5

重点事項３　財政計画の策定と自主財源の確保の強化（取組実績Ｐ５～８、９項目）

- ふるさと納税については、具体的な使途を掲げて寄附を募るとともに、記念品数を増やし、ＰＲを促進しました。3-3-1
  （歳入効果額：約２億４，７００万円）
- ホームページバナー、広報かこがわ、コミュニティバスのバス停、行政情報モニター等に広告を掲載し、財源の確保に努めました。3-3-2（歳入効果額：約７２０万円）

重点事項４　事務事業の見直し（取組実績Ｐ８～１７、２７項目）

- 公共施設の使用料について、サービスの提供に係る経費や受益者負担の割合、消費税の引き上げ等を反映した新たな料金制度を令和２年４月から導入しました。4-1-3
- 職員に貸与する被服について、被服貸与規則及び事務分掌規則を改正し、貸与期間と管理体制を見直すことにより、更新サイクルの延長とストックの削減による将来的なコストの削減を図りました。4-1-9
- ごみ減量について、各種啓発事業や冬季の剪定枝回収回数を増やしたことによって、ごみ焼却処理量が平成２５年度実績と比べて２１，４０１ｔ（２４％）減少しました。また、家庭からの燃やすごみを対象とした指定ごみ袋制度について、令和３年６月からの実施を決定しました。4-1-18
- 身体障害４級を医療費助成の対象外とする条例改正を行い、令和２年７月から施行しました。4-1-19
- 知的障害者総合支援センターを民間へ移管し、令和２年４月から民間事業者による運営を開始しました。4-3-1（歳出効果額：約２，８００万円）

重点事項５　市民サービスの向上（取組実績Ｐ１８～１９、４項目）

- 市立幼稚園及び市立保育園の認定こども園化について、令和元年度までに予定していた３園について、開園することができました。5-1-4
- 災害対策本部設置時における各所属の業務の見直しを行い、配備体制を修正しました。また、「加古川市災害時受援計画」について、非常時優先業務の確認等を行い、令和２年４月に策定しました。5-2-1

重点事項６　積極的な情報発信（取組実績Ｐ１９～２０、３項目）

- 加古川市ホームページを令和元年１２月にリニューアルし、市民にとって、より分かりやすい情報発信が可能となりました。6-1-2
- フェイスブックやツイッター、インスタグラム等のＳＮＳで積極的な情報発信を行うとともに、令和２年４月からＬＩＮＥ公式アカウントを開設し、情報発信を開始しました。6-1-3

重点事項７　市民参画による協働のまちづくりの実現（取組実績Ｐ２０～２１、３項目）

- 市が事務局機能を担う各団体について、チェックリストに基づいた適切な事務を執行するよう促しました。7-1-2

Ⅱ　令和２年度以降の新たな取組

加古川市行政改革実行プランでは、目標を達成した取組は実行プランから除く一方で、新たに出てきた課題を追加することで、継続的に改革を進めていくこととしています。

このたび、実行プランの取組について、令和２年度以降の新たな取組を以下のとおり追加しました。

重点事項４　事務事業の見直し（新規取組Ｐ１～２、４項目）

- 商工業振興推進事業について、関係機関と意見や情報を交換しつつ、市内中小企業の支援のあり方を検討します。4-1-31
- 敬老祝品・表敬訪問事業について、平均寿命が延びる中、長年にわたり地域社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うことを目的とする事業として、高齢者の現状に即した形での実施手法へ見直しを行います。4-1-32
- 通学路の児童の見守りについて、市が実施している交通安全指導員事業のほか、地域住民や保護者が立ち番などを行っている地域もあることから、通学にかかる児童の安全を確保するため、交通安全指導員の今後のあり方について検討します。4-1-33
- 児童クラブの更なる質の向上を推進するため、児童クラブ運営業務について、民間事業者への業務委託を検討します。4-3-11

重点事項５　市民サービスの向上（新規取組Ｐ３、１項目）

- 少年自然の家の利用促進を図るため、学校教育関係、社会教育団体の利用を優先としながら、一般利用も可とする方策を検討します。5-1-7

Ⅲ　進捗状況

令和元年度における５９の課題項目の進捗状況は以下のとおり、「Ｆ：取組完了」「Ｓ：予定より進んでいる」「Ａ：予定通り進んでいる」を合計すると４５項目あり、全体の７６．３％が順調に進捗しています。「Ｂ：予定より遅れている」取組については、早急にスケジュールを見直し、目標達成に向け取組を進めます。

なお、取組が完了した９項目については、行政改革実行プランから除く一方、新たに出てきた課題５項目を追加しました。令和２年度は、合計５５項目の取組を進めていきます。

表１　進捗状況一覧表

重点事項	項目数	進捗状況				追加項目
		F	S	A	B	
1　定員管理体制の確立と効率的な行政組織の構築	8			2	6	
2　職員のスキルアップと意識改革	5			5		
3　財政計画の策定と自主財源の確保の強化	9			8	1	
4　事務事業の見直し	27	6	1	16	4	4
5　市民サービスの向上	4	1		2	1	1
6　積極的な情報発信	3	1		2		
7　市民参画による協働のまちづくりの実現	3	1			2	
合　計	59	9	1	35	14	5
割　合	%	15.3	1.7	59.3	23.7	

Ｆ …取組完了。
Ｓ …予定より進んでいる。
Ａ …予定通り進んでいる。
Ｂ …予定より遅れている。